

万葉の雪月花を愛でる心

幡谷廣司氏が万葉集の植物をテーマとした写真を真剣に撮り始めたのは、平成3年（1991）だったという。それから今日までの間に、日本全国の万葉故地はもとより、万葉びとの憧憬の地である中国大陸での撮影も敢行している。

今回の特別企画展では、万葉歌人たちと幡谷氏の心のファインダーが見出した植物の姿を通じ、日本の豊かな季節感が織りなす歌心や、越の国の魅力を再発見していただければ幸いである。

幡谷廣司（はたや・ひろし）プロフィール

昭和13年生まれ。現代万葉の会会長。平成3年に「現代万葉の会」設立。富山を本拠としながら、奈良、大宰府、多賀城、因幡、韓国（ソウル）、中国（西安・大連・錦州）など、国内外の万葉故地で写真展を開催。そうした活動の集大成として、写真集『越の国から一万葉の四季写真集一』『越の国から一万葉風土の心の記憶一』を刊行。



「紅葉」

かたかこ
「堅香子」



「ほよ(宿り木)」



「山吹」

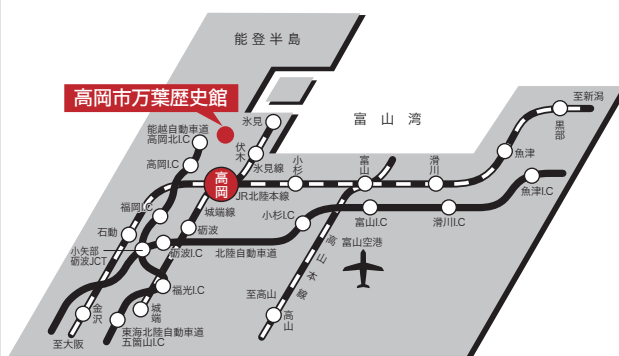


高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11
電話:0766-44-5511 FAX:0766-44-7335
E-mail:manreki@office.city.takaoka.toyama.jp
<http://www.manreki.com>

利用のご案内

開館時間 午前9時～午後6時(入館は午後5時15分まで)
休館日 毎週火曜日
入館料 一般…210円 中校生以下…無料
65歳以上・団体(20名以上)…160円



交通のご案内

- ・JR高岡駅より車で25分
- ・高岡北ICより車で15分
- ・JR高岡駅よりバス(4番のりば)
西まわり古府循環
東まわり古府循環
西まわり伏木循環
高岡駅…(バス約25分)…
伏木一宮下車…徒歩10分
- ・JR氷見線伏木駅より徒歩25分